

外遊びのすすめ 子どもが主体の遊び場づくり

第1回 「子どもにとって遊びとは」

神戸女子大学家政学部
家政学科 教授

梶木 典子

子どもにとっての遊びのはじまりは、「やりたい!」「やってみてみたい!」という気持ちです。遊ぶことそのものが目的であり、たいがいは無計画なものなのです。「やった!」「できた!」という達成感も遊びには欠かせないものです。子どもの頃の遊びを思い出してみてください。楽しかったこと、嬉しかったこと、ドキドキしたこと、ワクワクしたこと、悔しかったこと等々。時間が経つのも忘れて夢中になって遊んだ様々なシーンが浮かんでくるのではないのでしょうか。

子どもにとって「遊び」は生活そのものです。特に「外遊び」は、身体的・精神的・社会的、そして情緒的な発達のための大きな力となり、大変重要な役割を担っています。自由な遊びのなかで、人と人とのコミュニケーション能力や危険から自分の身を守る危機回避能力、瞬発力・体力、社会性など様々な能力を体得し、高めていくのです。

少子高齢化、都市化・過疎化や核家族化が進み、価値観やライフスタイルが多様化し、社会とのつながりが希薄になり子どもを取り巻く環境は大きく変化しています。特に、遊び環境は「遊び場がない、禁止事項が多いのびのびと自由に遊べない、友だちがいない、塾や習い事等で忙しすぎる…」など大きく変化しています。また、遊びそのものも、タブレットやスマートフォン等で、瞬時に楽しめる動画やゲームが、その手軽さとリアルさと強い刺激により子ども達を魅了するようになっています。このような状況が、子ども達の心身や社会性の発達を阻害し、生きづらさを抱える人々を生み出す要因となっているといっても過言ではありません。そして何よりも、子どもにとって貴重な「何もすることがなくてぼーっとできる時間」、すなわち自由な時間が奪われているのです。



異年齢で遊ぶ

どのような時代であっても、子どもは「子ども社会」という大人の価値観とは異なる世界観のなかで、自由な遊びを通して様々なことを体験し、社会で生きていくうえでの礎を築き、生きる術や力を身につけることが大切です。子どもの自由な外遊びを保障するために、貴重な遊び空間である公園づくりから考えてみませんか。



夢中になって遊ぶ

2019 ガーデンコンペ・ひょうご 作品募集のご案内

日本でも有数の花と緑の祭典、明石城築城400周年記念協賛事業「2019ひょうごまちなみガーデンショーin明石」が、9月21日(土)～29日(日)に開催されます。

今年のコンペは「A 写真」「B 単鉢コンテスト」「C まちなみガーデン」「D 寄せ植え、ミニ寄せ植え、ハンギングバスケット」の4部門に分かれています。

B部門のみ既に受付を終了していますのでご了承ください。

詳細につきましては出展申込書をご覧ください。多くの皆様のご応募をお待ちしています。



A部門 写真

(1)コミュニティ・職域緑化 (2)家庭緑化 (3)学園緑化

- 申込期間 5月10日(金)～8月10日(土)
展示場所 明石公園 西芝生広場内テント(予定)
対象 (1)自治会や商店街などの地域団体や事業所にある花壇
(2)家庭の花壇
(3)教育機関と保育所の施設内にある花壇
写真サイズ キャビネ版=2Lサイズ
(縦127mm×横178mm)
※2018年秋以降に撮影された写真
応募方法 出展申込書にご記入の上、写真4枚とともに郵送してください。



出展写真の展示風景



<2018年最優秀作品>

C部門 まちなみガーデン

一定区画の木枠内にオリジナルガーデンを製作します。

- 申込期間 6月1日(土)～8月10日(土)
展示場所 明石公園 入口付近園路
対象 花緑団体、学校や会社の園芸クラブ、自治会、老人会など
応募方法 出展申込書にご記入の上、FAXまたは郵送でご応募ください。

<2018年最優秀作品>



D部門 (1)寄せ植え (2)ミニ寄せ植え (3)ハンギングバスケット

申込期間 6月1日(土)～8月10日(土)
 展示場所 明石公園 西芝生広場
 対象 個人
 応募方法 出展申込書にご記入の上、FAXまたは郵送でご応募ください。



※新人賞の対象は、D部門初出展の方のみです。



寄せ植え

<2018年最優秀作品>



ミニ寄せ植え



ハンギングバスケット

花緑いっぱい運動推進員募集

地域で花と緑のまちづくりに取り組む皆様をボランティアで支援する「花緑いっぱい運動推進員」を募集しています。令和元年6月1日現在、170名の方が花緑いっぱい運動推進員として活動されています。花と緑のまちづくりに関心のある方の積極的な参加をお待ちしています。

詳しくは、下記のお問い合わせ先へご連絡ください。

●活動内容

- ・地域の緑化活動に取り組もうとするグループの育成
- ・地域の緑化活動への技術的なアドバイス
- ・緑化活動グループの交流促進 など

※半年に一度、報告報告書(A4 で2枚程度)を提出していただきます。

●活動に対する支援

- ・月1,000円の活動助成金
- ・兵庫県ボランティア災害共済制度への加入
- ・研修会やワークショップの案内



<お申込み・お問合せ先>

(公財)兵庫県園芸・公園協会 花と緑のまちづくりセンター
 〒673-0847 明石市明石公園1-27
 TEL : 078-918-2405 FAX : 078-919-5186

ひょうごはなまち

検索

県民まちなみ緑化事業

事業概要

兵庫県では、都市における環境の改善や防災性の向上等を目的として、県民緑税を活用し「県民まちなみ緑化事業」を実施し、県民のみなさんによる植樹や芝生化などの緑化活動に対して補助を行っています。県民のみなさんには、樹木などの植栽や芝張り、その後の維持管理を行っていただきます。

緑化区分	補助内容
一般緑化	公園、広場、マンション、道路・河川沿い、学校、土石採取跡地等への植樹や生垣の設置等を行う住民団体等に対し、緑地整備に要する費用を補助します。
校園庭の芝生化	学校の校庭や幼稚園・保育園の園庭の芝生化に要する費用を補助します。
ひろばの芝生化	公園、広場、グラウンド等の芝生化に要する費用を補助します。
駐車場の芝生化	駐車場の芝生化を行う所有者や管理者等に対し、芝生化に要する費用を補助します。
建築物の屋上緑化・壁面緑化	建築物の屋上又は壁面の緑化を行う所有者や管理者等に対し、緑化に要する費用を補助します。
大規模都心緑化	人口集中地区内の駅周辺の公共性が高い都心空間で、歩行者空間を豊かにする大規模な緑化を行う協議会に対して、緑化に要する費用を補助します。

対象者

- 自治会、婦人会、老人会などの住民団体
- まとまった面積の緑化を行う土地所有者（個人・法人など）
- 法人、個人、住民団体、市町等により構成する協議会（大規模都心緑化のみ）

対象地域

住民団体が公共用地で実施する場合 （一般緑化、ひろばの芝生化、駐車場の芝生化）

- 都市計画法に規定する都市計画区域
- 緑豊かな地域環境の形成に関する条例（以下「緑条例」という。）の「さとの区域」、「まちの区域」など

個人・法人等が実施する場合

- 都市計画法に規定する市街化区域
- 用途地域が定められた区域
- 市街化調整区域のうち、特別指定区域及び開発指定区域
- 緑条例の「まちの区域」など

一般緑化の一例



校庭前緑地

施工前は立入不可の場所であったが、緑化により児童に開放。学校のオアシスとして児童、教職員が共にやすらぎコミュニケーションの場となる。

ひろばの芝生化の一例



自治会広場

芝生の生育・活着は良好で枯れた部分もなく、雑草もなく良く管理されている。地域交流として住民の憩いの場所になっている。

校庭の芝生化の一例



園庭

みんなで芝貼りをしたことは、いい思い出になることでしょう。思いっきり遊べるようになり、中庭の景観、環境もよくなりました。

屋上緑化の一例



施設屋上

建築物の断熱性により、室温上昇緩和に役立ち、またヒートアイランド現象の対策に効果有り。

問い合わせ先

●一般緑化、校庭・ひろばの芝生化

実施箇所	お問い合わせ先	郵便番号	所在地	電話番号
神戸市	県土整備部まちづくり局 都市政策課緑化政策班	650-8567	神戸市中央区下山手通 5-10-1	078(362)3564
尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市 宝塚市、川西市、三田市、猪名川町	宝塚土木事務所 まちづくり建築課	665-8567	宝塚市旭町2-4-15	0797(83)3191
明石市、加古川市 高砂市、稲美町、播磨町	加古川土木事務所 まちづくり建築課	675-8566	加古川市加古川町 寺家町天神木97-1	079(421)9402
西脇市、三木市、小野市 加西市、加東市、多可町	加東土木事務所 まちづくり建築課	673-1431	加東市社字西柿1075-2	0795(42)6176
姫路市、相生市、たつの市、赤穂市 宍粟市、神河町、市川町、福崎町 太子町、上郡町、佐用町	姫路土木事務所 まちづくり建築第1課	670-0947	姫路市北条1-98	079(281)9313
豊岡市、養父市、朝来市 香美町、新温泉町	豊岡土木事務所 まちづくり建築第1課	668-0025	豊岡市幸町7-11	0796(26)3757
篠山市、丹波市	丹波土木事務所 まちづくり建築課	669-3309	丹波市柏原町柏原688	0795(73)3863
洲本市、南あわじ市、淡路市	洲本土木事務所 まちづくり建築課	656-0021	洲本市塩屋2-4-5	0799(26)3213

●駐車場の芝生化、建築物の屋上緑化・壁面緑化、大規模都心緑化

実施箇所	お問い合わせ先	郵便番号	所在地	電話番号
全市町	県土整備部まちづくり局 都市政策課緑化政策班	650-8567	神戸市中央区下山手通 5-10-1	078(362)3563

募集期間

2019年4月1日(月)～11月29日(金)

*ただし、予定額に達した場合は、受付を締め切りますのでご了承下さい。



グリーンメッセージ



幼保施設と緑豊かな園庭

兵庫県参与（花と緑のまちづくり推進担当）
（公財）兵庫県園芸・公園協会 技術顧問

石原 憲一郎

近年、スマホなどIT機器の進化が、子どもの意識や行動まで変えていこうとしていく中で、人間として本来持っている運動や遊び、そして生き物との触れ合いなどを叶えてくれる園庭の存在は、次代を担う子ども達の心身共に健全な生育を続ける為、園舎等の建物と同等に不可欠です。

最近、デンマークやドイツで盛んな「森のようちえん」が、我が国でも生まれてきているのもこうした傾向に対する典型的なカタチであると思います。

F建築設計事務所(大阪)は、これまで約600件の幼保施設建築設計や研究に取り組んできました。数年前、同社の設計した兵庫県丹波市春日町の認定こども園「かすが花の子園」が「兵庫県人間サイズのまちづくり賞」で知事賞を受賞した経緯もあり、筆者の園庭に対する疑問点を社長に聞いてみました。



かすが花の子園の全景

幼稚園の園庭の設置については、自治体や審査機関によって異なるようですが、小学校の運動場と同じ考え方で、花壇や植栽地・芝、池などが設置基準から除外され、あくまでも運動をするための空間という解釈です。そして、保育所については、認可と無認可、立地条件の違いもあり一概には言えませんが、建物以外の園庭等は補助の対象からも除外されるようです。しかも、同一敷地内でなくても近隣の公園が代替地として認められます。

同社長は、園庭の重要性を幼児教育で不可欠な知育、徳育、食育、体育の面から訴えており、具体的には、運動場での遊びを通して高める運動能力や危険回避能力、さらに、花や野菜づくりの畑での体験や裸足で遊べる芝生地、様々な生き物が観察できる樹林や小川などは園内に不可欠であるとの考え方であります。

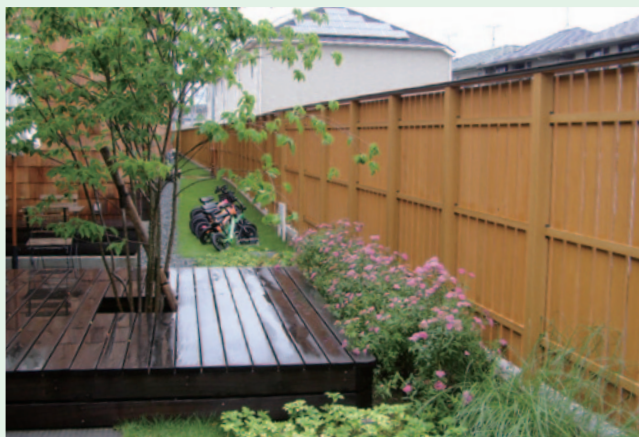
子どもたちが、環境を整えた施設で五感を磨き、体力を

向上させ、自然との対話の中で優しい心を育むなど、未来社会に向けて持続可能な社会を創る原動力となるような成長を念願すると強く主張していました。

兵庫県では、県民まちなみ緑化事業により、多くの幼保施設の園庭や運動場の芝生化そして花木の植栽などお手伝いをしてきましたが、園庭を持たない幼保施設への対応は、北欧やアメリカでの校庭改善運動を見習って、魅力的な空間を常設していくことを願います。

また、当センターの所在する明石市は、0～4歳児人口の増加が全国的に見ても顕著で、「子育てにやさしいまち」とのブランドが定着してきました。

今後、子育て環境の一つとして、緑豊かな幼保施設の園庭等の整備やまちなかでの公園緑地等の充実等緑豊かなまちづくりに期待します。



県民まちなみ緑化事業にて芝生など緑化された園庭例（たつの市）



花緑が豊富な園庭での遊び（伊丹市）

ほっと

●●● 相談員ニュース ●●●

湿地植物の魅力と楽しみ方

緑の相談員 城山 豊

湿地植物とは

湿生植物とも呼ばれますが、水辺や湿原などの湿潤な地域に生育する植物です。水生植物のように水の中や水に浸かっていると生育できないものはありませんが、湿った土壌を好み、極端に乾燥させると傷みます。よく知られている植物の中にも湿地植物があり、湿地植物ならではの魅力や利用方法があります。

どんなものがあるか

よく比較の対象とされる植物にカキツバタとハナショウブがありますが、ハナショウブは湿地植物、カキツバタは水生植物です。ハナショウブは池の端に咲いているイメージがあるかもしれませんが、一年中水に浸かっていると生育は悪くなります。一方、カキツバタは水に浸かった状態で育てます。

他には、カンナやアメリカフヨウ、オランダカイウ、食用にも利用されるサトイモやイネなども湿地植物で、鉢植えや花壇でも育てられますが、湿った状態を保ち、水を切らさないことが栽培のポイントです。

魅力と楽しみ方

鉢植えの植物を育てる時に、鉢受け皿の水を溜めないようにとよく言われます。しかし、湿地植物の場合は、問題ないのです。鉢受け皿に水を溜めておくと、普段の水管理も楽ですが、短期の旅行などでも安心です。

公園や植物園のような施設では、夏の間、池の浅瀬などに置けば乾くことがなく、頻繁な灌水が不要で、労力削減が可能です。水際の花は涼しさを演出してくれるので、一石二鳥ですね。

また、根を水につけて栽培することも可能です。昨年はこの性質を利用して、「ひょうごまちなみガーデンショー」開催時にお堀にカンナやサトイモを浮かべました(画像右下)。

発泡スチロール板に穴を開け、鉢植えにした植物をはめ込んで水上に置くと発砲スチロールの浮力で浮き、植物は水中に根を伸ばし水を吸います。お堀から水を吸うので水を与える手間がかかりません。今年はさらに改良を加えた展示を行う予定です。ご期待ください。



ハナショウブのある景観



アメリカフヨウ



オランダカイウ



お堀のカンナとサトイモ(奥)

園芸相談コーナー

10:00~12:00

13:00~16:00

火曜日を除く毎日

Tel 078(918)2405

Fax 078(919)5186

写真や実物をご持参いただきますと、
お話ししやすくなります。

園芸教室

令和元年度 7月～9月

実施日	開催時間	タイトル	講師名	定員【名】	受講料【円】	受付開始日
7/5	金 13:30～	睡蓮の魅力と水辺の保全	城山 豊	30	100	6/15
7/12	金 13:30～	夏の風物詩! つりしのぶづくり	市原 誠	30	2,600	6/15
7/19	金 13:30～	家庭果樹の作り方① ～くだものづくりの基礎知識～	武久 正篤	30	100	7/1
7/21	日 13:30～	ガーデンデザイン② 「小さな庭づくりのためのポイントと事例紹介」	中山 正範	30	100	7/1
7/26	金 13:30～ ◆	小枝アート ～森の仲間たち～	松井 鴻	30	600	7/1
7/28	日 18:00～ ◆	明石城築城400周年記念 明石公園の自然観察③【夜間】	兼光 たか子	20	100	7/15
8/2	金 13:30～	コンテナで秋冬野菜づくり(品種選定と作付けの準備)	小野 康裕	30	100	7/15
8/4	日 13:30～ ◆	花びらアート ～曼荼羅づくり～	武内 里美	30	1,600	7/15
8/11	日 13:30～ ◆	天然素材工作「竹笛づくり」	廣内 一政	20	500	7/15
8/18	日 13:30～ ◆	ハーブのある暮らし②「ハーブ染め」	松尾 あや子	20	1,800	8/1
8/30	金 13:30～	バラの手入れ・剪定 <夏>	山田 益男	30	100	8/15
9/1	日 10:00～ ◆	明石城築城400周年記念 明石公園の自然観察④	兼光 たか子	20	100	8/15
9/6	金 13:30～	花と緑で健康づくり～園芸療法の理論と体験～①	金子 みどり	30	600	8/15

花緑博士へチャレンジ!!

- ◆印は小学生以上が対象です。対象の教室を5回以上参加した小中学生には、花緑博士の認定証を進呈します。

★★お申し込み・お問い合わせ★★
花と緑のまちづくりセンター
TEL078-918-2405

受付時間は、9時から17時迄です
 お申込み開始日より先着順 ※電話のみの受付



花と緑のまちづくりセンターだより 49号

- 令和元年7月1日発行 (年4回発行)
- 編集発行 公益財団法人兵庫県園芸・公園協会花と緑のまちづくりセンター長 堀本 祥子
〒673-0847 明石市明石公園1-27 花と緑のまちづくりセンター
TEL: 078(918)2405 FAX: 078(919)5186 Eメール: info_midori@hyogopark.com